



長野ワイズメンズクラブ 会報

2017年

12月 第85号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2017~2018年度主題

国際会長主題「国境なき友情」“Fellowship across the Borders”
 アジア会長主題「ワイズ運動を尊重しよう」“Respect Y's Movement”
 東日本区理事主題「広げよう ワイズの仲間」
 あずさ部部長主題「楽しもうよ 仲間とともに」
 長野クラブ会長 「今できることをなんとかやってみよう」



今月の聖句

丁 胤植 Y's

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

<マタイによる福音書 7章 13-14 節>

12月 例会案内

日時 2017年12月20日(水)

6:30pm~8:30pm

会場 レストランやま 司会 福島 Y's

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング、ワイズの信条
3. 今月の聖句 丁 Y's
4. 会長あいさつ 会長
5. ゲスト紹介 会長
6. 報告(メネット委員会、教え石の今)
7. 特別演奏
車椅子のロッカー 川崎ジョージさん
8. ワイズディナー
自由トーク
オークション
プレゼント
9. ハッピーバースデー
(堀内 Y's 湯田 Y's 渡辺 Y's)
10. きよしこの夜
11. 閉会点鐘 会長

夢をつなごう

森本俊子

今年も後わずかとなりました。長野クラブも小林 Y's 夫妻の積極的な活動のおかげでいくつものあたらしい気づきを与えられました。私は特に障害というものについてそれまで考えていた以上に関心を持つようになりました。あいサポーターという活動の存在も知り、例会でおはなしをきいたり、戸隠へ車椅子の体験に公募の方たちと共にでかけ、研修会も実施して、東京サンライズクラブからお迎えできた長津夫妻を、手話の講習に加わっていただいたりしました。障害にも多様性があり、見かけでは障害者に見えない人でも障害を抱えている場合があることをあらためて気づきました。

長野オリンピックの後パラリンピックを開催し選手たちの活躍に大きな感動をいただいたのですが、それでも東京オリンピックのニュースが必ずパラリンピックとセットになっているという認識をあまり持っていませんでした。玉木一成さんの卓話を伺った時はつきりとその意味が分かったのは私だけでしょうか。

東京パラリンピックの時に日本選手団長をつとめた整形外科医の中村裕氏の活動についてノンフィクションライターの城島充氏が雑誌に書いておられました。注目すべきことは日本選手53人のほとんどは療養中、訓練中の方で、仕事についている人は5人だけだったそうです。今、障害者スポーツを取り巻く環境は劇的に変わっていますが、「世界の身体障害者が一般市民とともに生き、身体障害者という言葉がこの世からなくなしてほしい」1984年に57歳で亡くなった中村氏はこんな言葉を残しておられるそうです

例会のご案内

毎月第3水曜日 (1月は17日)
 18時30分から20時30分
 ところ レストラン やま
 連絡先 会長または書記へ
 tokoton921@gmail.com (森本会長)
 f69a9n@bma.biglobe.ne.jp (小林書記)

会長 森本俊子
 副会長 福島貴和
 書記 小林美彦
 会計 倉石美津子
 監査 塩入 隆
 プリテン 小林美彦、堀内雅俊
 担当主事 露木淳司

11月データ

在籍会員 14名
 例会出席者 9名 例会出席率 64%
 (メイキャップ・メネット含む)

11月の例会報告

出席者 青山史恵、久保田恵子、倉石美津子、小林美彦、小林晶子（メネット）、塚田佐、福島貴和、森本俊子、大和田浩二（ビジター）

塚田さんが久しぶりに出席。倉石さんの石巻へのボランティア訪問報告を聞きながら（ブリテン11月号に掲載）出席メンバーの被災地訪問体験なども話、続いて石巻の荻浜地区の教え石の所に植える桜の苗木の植樹法についてもじっくり検討することにした。（すでに目録はわたしました。公園の完成は来年8月と聞いています）

ビジターで見た御殿場クラブの大和田会長から御殿場クラブのメネットの活動ぶりなどのお話があり、東山荘を拠点にするクラブとあってYMCAの活動にも積極的にかかわっているとお話しされた。

長野クラブもこれからどちらの方面へ活動を広げるか課題だとつくづく感じた。（森本記）



月例会倉石さんの石巻へのボランティア訪問の報告

YMCA だより

露木淳司

2017年が終わろうとしています。YMCAの一年を振り返ってみましょう。2月に立ち上げた発達障害児のための放課後等児童デイサービスは、3月から毎月計ったように3名ずつ利用者が増えました。秋に入って19名に達し、おかげ様で収支差も得られるようになり、ほぼ軌道に乗ったと言えます。プライムタイムと呼ばれる学童保育も順調で、下石田の広大な公園に隣接する新拠点、南西望みの家の使用スペースが9月から拡大されました。そして、介護保険事業「ぶどうの木」は年間を通じて利用者が15名定員を満たすようになり、安定した運営が可能になっています。夏休みなどに行うわいわい地球塾やキャンプにも新規の子供達が大勢集まり、YMCAの利用者は確実に増加しています。そして、全国的にはブランディング元年と呼ばれ、ロゴマークやキャッチフレーズ、印刷物や看板、ユニフォームなどが一新されました。ワイズメンの皆さんと続けてまいりましたチャリティランもなんと20回目を数えるに至りました。そしてバザーは57回ということで間も無く還暦を迎えます。こうして無事一年を終えることができるのも、ひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物です。明るく2018年も引き続きYMCA運動の火を灯し続けさせていただきますよう何卒よろしくお願ひ致します。特に来年は道路拡幅に伴う新会館建設計画が大きく進展する見込みですので、ぜひお楽しみにお待ちください。

これからの予定

1月例会第3水曜日 17日 レストランやま
2月10日 第2回あずさ部評議会 甲府？
2月例会第3水曜日 21日 レストランやま

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。

今年度前期会費（7月～12月）18000円のお振り込みをお願いします。（1年分は36000円です）

八十二銀行 昭利通営業部番号 214)

普通預金 □座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計

倉石美津子